

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立白岳小学校
(白岳中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	+12.3	+7.6
令和5年度	+9.8	+9.5
令和4年度	+10.4	+5.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語 本校 80% 全国 67.7% 県 69% 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 我が国の言語文化	重点課題	◎資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。 (設問12)【話すこと・聞くこと】(平均正答率60.9%) ◇文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることに課題がある。
	改善の方策	◎聞き手の興味・関心や情報量を予想し、どのような資料を用意すればよいかを考える場面を設定するとともに、目的や意図・時間に応じて資料の順番や提示の仕方について検討する活動を設定する。 ◇文章を読んで得た情報や自分の考えを、図や絵、記号などを用いて整理させ可視化し情報と情報との関係の様々な表現の仕方の定着を図る。 他教科や総合的な学習の時間において、書く活動を積極的に取り入れる。
	検証	◎◇全国学力重点課題問題を実施し、検証する。 (小学校：設問12) 目標60%→59.1%(第5学年2月)
算数 本校 71% 全国 63.4% 県 64% 数と計算 図形 変化と関係 データの活用	重点課題	◎道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。 (設問43)【変化と関係】(平均正答率26.4%) ◇数量の関係性や図形の性質を捉え、問題を解決することに課題がある。 〔小学校(設問43)【変化と関係】(平均正答率26.4%)〕
	改善の方策	◎問題解決の方法に焦点を当て、数量やその関係を言葉、図、数、式、グラフを用いて表現させるとともに、それらを問題解決にどう用いたかを明確にして説明させる場を充実させる。 ◇算数科の学習のみならず、他教科や総合的な学習の時間において、自分の意見や考えを表現する際には、根拠を明確に表現する活動を積極的に取り入れる。
	検証	◎◇全国学力重点課題問題を実施し、検証する。 (小学校：設問43) 目標30%→69%(第5学年2月)

【来年度に向けて】

自分の考えが伝わるように表現を工夫する学習において、複数の情報を関連付け、より説得力のある文章にするための場を充実させる。数量やその関係を言葉、図、数、式を用いて表現させるとともに、それらを問題解決にどう用いたかを明確にして説明させる場を充実させる。